

# 生涯

エルネスト・コフィニョ・ウビコは、1899年6月5日、グアテマラに生まれました。この町で、学業を終えた後、1929年にパリ大学医学部で外科医として働き始めます。1933年に結婚し、5人の子どもに恵まれました。

2006/11/06

エルネスト・コフィニョ・ウビコは、1899年6月5日、グアテマラに生まれました。この町で、学業を終えた後、1929年にパリ大学医学部で外

科医として働き始めます。1933年に結婚し、5人の子どもに恵まれました。

尽きることの無い奉仕の精神で職務をまっとうし、人々の心と体の健康を向上させることに挺身しました。

超自然的にも人間的にも優れた感覚をもっていたエルネストは、生命の尊厳を守るために様々な活動を促進し、自らも先頭にたって働きました。将来の母となる女性や路頭をさまよう子どもたち、そして親のいない子どもたちの福祉を向上させるために、社会問題の解決にも取り組みました。そのために、様々な施設を設立し、また4年間に渡って国立救貧院を指導しました。

エルネストは、グアテマラにおける小児医学の開拓者であり、聖カルロス大学医学部の小児医学教授を務めました。

1956年、スーパーヌメラリーとして  
オプス・デイへの所属を申請します。  
この時から、祈りと犠牲、ミサへの  
参列と日々の聖体拝領、毎週のゆる  
しの秘跡を通して、神と向き合う生  
活を深めて行きました。聖母マリア  
への信心を深め、ロザリオの祈りを  
積極的に広めました。また、教会の  
教えを深く学び、日々の研究活動に  
反映させて行きました。

使徒職にも力を注ぎ、喜びと寛大な  
心を多くの人々に伝えて行きました。  
彼自身、多くの犠牲を捧げながら、  
社会についての教会の教えを実  
践するために働き、また、多くの  
人々にも、経済的あるいは祈りに  
よって、キリスト教的な社会を建設  
する事業に協力していくように呼び  
かけました。

様々な教育機関にも積極的に協力  
し、農業従事者、労働者、女性た  
ち、また、貧困者たちの育成に尽力

しました。この隣人への奉仕の業は、92歳まで継続しました。

癌による長期の闘病生活を、変わらない英雄的な態度で過ごした後、1991年10月17日、グアテマラにて死去しました。

.....

列福調査に協力してくださる方のご寄附に感謝いたします。送金は以下の口座にお願いいたします：

宗教法人オプス・デイ・ジャパン

三菱UFJ銀行芦屋支店

（普通） 3867278